

実施日：2024年8月6日

8月研究テーマ：応用行動分析を用い、児童のアセスメントを組織的に行うことができるよう、研究、考察を行う



8月研究会の達成目標：応用行動分析の基礎知識をもとに、事例検討を行い学校の一教員として、学校組織としてどのようなことが行えるのかを考察する。

活動内容

- 1、こだわり、立ち歩き、暴言、片付けなど「あるある」行動の事例研究 応用行動分析を知る
 - ・個人要因と環境要因
 - ・ABC分析（行動を原因と結果の流れで捉える）
 - ・強化の原理の悪循環を防ぐ
 - ・事前対応の工夫を考える
 - ・行動には四つの機能（目的）があり、注目の獲得、ものや活動の獲得、感覚的な刺激の獲得、状況や課題からの回避などの面を知り、行動の動機を考える。——などを学ぶ。
- 2、以上の基礎知識をもとに、事例検討を行い学校の一教員として、学校組織としてどのようなことが行えるのかを研究員で考察した。

今後の活動 講演内容予定

次回：9/4（水） 講演会
15:00～ 克明小学校 かがやき校舎 2階 音楽室
『発達検査（WISK-4）の結果を視る力をつける』
講師：村田さん（児童生徒課教育相談係）

- 10月 「教室・集団に入れない子の理解」
- 11月 「生活保護を含む生活困窮家庭に対し、子どもや親のメンタルヘルスを支える」
- 12月 「少年鑑別所から見た子どもの姿」
- 1月 「児童心理：年度のまとめ」
- 2月 「事例検討」

などを予定しています